

実績報告書

静岡県 御前崎市立浜岡北小学校	実施学年： 3年 児童数： 25人（1学級） 実施教科等： 総合的な学習の時間・社会科 実施時間数： 34時間
実施プログラム	お茶はかせになろう！



●学習のねらい・学習活動・準備品・実施場所

学習のねらい	● 地域の産業であるお茶について学び、地域を大切に思う心情を育てる。
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校の周りの探検（社会科） ● 「お茶」のウェビングマップの作成 ● お茶の手摘み体験・お茶工場の見学 ● お茶の淹れ方教室 ● 「茶イルド・スクール」でお茶についての学習 ● お茶の手揉み体験 ● 茶ミューキットでお茶についての学習 ● 知らせたいポイントを決めて、グループで発表
準備品	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークシート ● 探検バック ● お茶について書かれた本 ● 茶ミューキット
実施場所	● やまま満寿多園 家庭科室 北の子ホール 教室

● 学習の流れ

	場所	概要	活動記録	児童の反応
6 時 間	学区内	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校から出発して東西南北の土地や建物の様子を調べる探検をする。 ● 東西南北の土地の様子を調べ、白地図にまとめる。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校を出発して、東西南北にすべて茶畑があることに気づいた。 ○ 白地図にまとめることにより、さらに茶畑の多さに気づき、学校の周りは茶畑に囲まれていることを実感した。
1 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> ● 「お茶」というキーワードから、思い浮かぶこと、調べてみたいことを書き出しウェビングマップの作成をする。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「お茶」について、種類や淹れ方、栄養などについて学習していきたいというイメージをもった。
5 時 間	やまま満寿多園	<ul style="list-style-type: none"> ● お茶の手摘み体験や工場見学を通して、お茶の産業について学ぶ。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ○ お茶の手摘み体験でお茶の芽がお茶になることに気づいたり、乗用機械によるお茶刈りの実演を見てその効率の良さに気づいたりした。 ○ 工場見学や満寿多園の社長さんのお話により、お茶の製造工程やお茶農家の思い、海外とのつながりなどを理解できた。
2 時 間	家庭科室	<ul style="list-style-type: none"> ● お茶の淹れ方教室で、お茶の種類による茶葉や、おいしい淹れ方、味の違いなどについて学ぶ。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ○ お茶の淹れ方を実際に体験することにより、茶葉の見た目の違い、淹れ方の違い、味の違いに気づくことができた。

	場所	概要	活動記録	児童の反応
2 時 間	だいにおん (視聴覚室)	● お茶に関するクイズや紙芝居を通して、お茶や茶園整備事業について知る。	 	○ お茶クイズを楽しみながら、お茶の種類や栄養についての知識を深めた。 ○ 茶園整備事業について、紙芝居を見ることで、近辺の茶園整備について知ることができた。
2 時 間	北の子ホール	● お茶の手揉みを実際に体験することを通して、手揉みのよさや大変さを知る。	 	○ 機械で揉むのとは違い、時間と労力がかかることを実感した。 ○ 手で揉むと、口当たりがよいお茶になることに気づいた。
2 時 間	教室	● 茶ミュージックでお茶の種類や栄養、歴史などを学ぶ。	 	○ 興味深くお茶の成分を顕微鏡で見たり、茶葉の実物を比べながら見たりした。 ○ 世界のお茶文化や栄養についてのクイズや資料から、お茶についての知識を深めた。
14 時 間	教室	● 知らせたいポイントを決めてグループを作り、今まで学んできたことや自分たちで調べたことを、紙芝居やポスター、画用紙などにまとめ、発表する。	  	○ グループごとお茶の淹れ方についての紙芝居を作成したり、お茶の歴史について模造紙にまとめたりした。 ○ 参観会でお家の方に向けて、グループごと自分たちで学習してきた成果を堂々と発表した。

●児童の作品



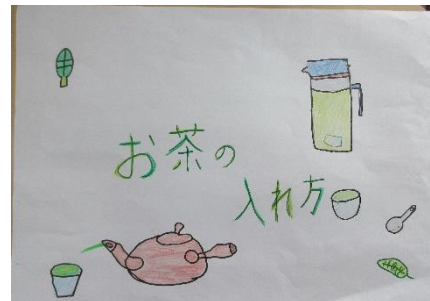
お茶の栄養について、手作りのスライドを作成した。



学習したことから、計8問のお茶クイズを作成した。



「お茶ができるまで」と「お茶の入れ方」について、学習したことをもとにそれぞれオリジナルのストーリーの紙芝居を作成した。



●先生の声

【実施にあたり工夫した点・苦労した点】

- 社会科と総合的な学習の時間を絡めて単元の導入をした。
- 地域のお茶農家を実際に訪れて、手摘み体験をしたり、説明を聞いたりした。
- 「お茶の淹れ方教室」で、実際にお茶を淹れる体験をした。
- 「茶イルド・スクール」で、クイズや紙芝居でお茶のことを学んだ。
- お茶の手揉みを実際に体験した。
- 「茶ミュージック」でお茶の種類や栄養、歴史などを学んだ。

【児童の反応】

- お茶に関する様々な体験活動に夢中になっていた。その体験を通して、お茶に関する知識が増えていった。
- グループごと協力して、お茶についてどのように発信するかを考え、工夫した作品作りに意欲的に取り組んだ。その成果を生き生きと発表することができた。
- 学校の周りの景観について深く考えるようになった。

【教師の変化】

- 児童たちの表れから、お茶について親しみを持ち、それを誇りに思う気持ちが学習を通じて深まっていったように思った。
- 体験を通して学ぶことは、外部との連携が大切であることが実感できた。